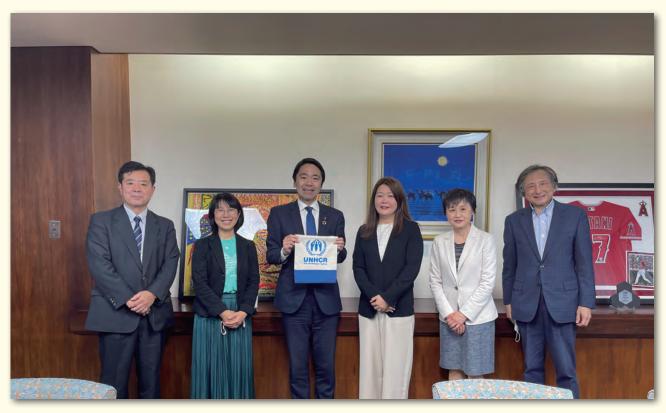


NPO 法人 アルペなんみんセンター 〒 248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp アルペ小金井センター koganei@arrupe-refugee.jp https://arrupe-refugee.jp



写真左から、アルペなんみんセンター有川 憲治(事務局長)・松浦 由佳子(小金井センター長)、松尾 崇 鎌倉市長、 ナッケン 鯉都 UNHCR 駐日首席副代表、保坂令子 鎌倉市議、佐渡友哲 アムネスティ・インターナショナル鎌倉グループ代表

最近のアルペ

アルペなんみんセンター(以下、アルペ)が拠点としている鎌倉市では今、地域として難民を受け入れるしくみづくりが進んでいます。アルペが鎌倉で2020年春に難民シェルターな

ど支援活動を開始して以来、鎌倉市議会が「人道的 見地で難民政策の見直しを求めることに関する意見 書」を国に提出したり、地域の市民団体や福祉団体 などが集い、「鎌倉なんみん共生フォーラム」が設立 されるなど、様々な動きが起こりました。

そしていよいよ鎌倉市は、2023年6月27日に UNHCR (国連難民高等弁務官事務所)と自治体との 連携強化を目指すグローバルキャンペーン「難民を支 える自治体ネットワーク」に参加します。すでに世界では、各地の自治体が立ち上がり、市民、社会を巻き込みながら、さまざまな形で難民支援の輪を広げています。この「難民を支える自治体ネットワーク」(英語名: Cities #WithRefugees)には、日本を含めた世界55カ国、286の自治体(2023年5月19日現在)が参加しています。これから鎌倉市がこのキャンペーンに参加することにより、アルペや「鎌倉なんみん共生フォーラム」の取り組みが、世界の難民支援の取り組みと連動していくことになります。

アルペは、今後も日本で唯一の共同生活型の難民 シェルターとして、地域と世界に向けて難民の支援を 呼びかけていきます。

地域連携コーディネーター 漆原 比呂志

神奈川県及び公益財団法人かながわ国際交流財団とウクライナ避難民支援に関する連携協定を締結しました



ウクライナ避難民とのクリスマス交流会(2022年12月)

ウクライナでロシアによる軍事行動が 2022 年 2月 24日に開始され、多くの国内避難民、難民が発生しました。4月5日にウクライナからの避難民 20人を乗せた政府専用機が日本に到着しました。4月9日に鎌倉在住のウクライナ人から、ウクライナから両親を日本に避難させたいと当センターに相談があり、様々な方々の支援でわずか9日間で来日することができました。

2022年7月より公益財団法人かながわ国際交流財団のかながわ国際協力基金・緊急支援事業「ウクライナ避難者への緊急支援・定住支援」による助成を受けながら、住居提供、定住支援、交流事業などを行ってきました。

今後も長期化するウクライナ避難民の支援を継続し、避難民が安心して生活できるように、神奈川県及び公益財団法人かながわ国際交流財団と、ウクライナ避難民支援に関する連携協定を2023年4月に締結しました。連携協定・協力事項は以下です。

- ウクライナ避難民の状況把握に関すること
- 市町村等と連携したウクライナ避難民の生活サポートに関すること
- ウクライナ避難民の日本語教育に関すること
- ウクライナ避難民の交流事業に関すること
- 通訳・翻訳等の言語支援に関すること
- その他、必要と認める取組に関すること

事務局長 有川 憲治

アルペ小金井センター開所 新たな試みがスタートしました!

鎌倉での始動から3年たった今年、アルペなん みんセンターは2つ目のシェルターの開設を念頭 に、カトリック修道会「聖霊会」と連携し、小金 井聖霊修道院で活動をスタートしました。2023 年4月から1年をかけ、新しい協働の形を模索して いきます。

3月末にはスタッフ松浦がミャンマーのSさんと 子ども2人と一緒に鎌倉から小金井に移り、聖霊 会のシスターと共同生活がスタートしています。ま だ少人数とはいえ、やることは沢山あります。日本 語学習、子どもケア、食事づくり、買い出し、広い 庭の整備など、小金井でもさっそくボランティアさ んに助けていただいています。

難民認定を受け、ビザがあり就労資格のある S さんは、近隣の高齢者施設に迎えていただき、4 月から働きだしました。初めての日本での就職、小学校入学、新しい保育園など、S さん母子にとり、この 2 か月は新しい経験の連続でした。まる

でさなぎが蝶になり、羽ばたきだすような躍動感 で、色々とチャレンジしています。

ビザがあれば定住支援が短期間でここまで実現できる手ごたえを得た一方で、ビザがなく八方ふさがりの仮放免の入居者たちの顔が迫ってきます。 羽ばたく機会を奪う酷い現状を何とかしたいです。 小金井でも鎌倉と同様に、地域のみなさんとふれあい、一緒に考え、活動していく予定です。 ご支援、よろしくお願いいたします。

アルペ小金井センター長 松浦 由佳子 (連絡先) koganei@arrupe-refugee.jp



Yさんの物語

Yさんはアフリカ中部の国で育ち、カトリック系の学校に通っていました。修道 女の先生がフランス語を教えていました。彼女の父親は、家庭でもフランス語を話 すよう厳命するほど教育に熱心でした。しかしYさんが中学生の時に、父親は病気 で亡くなり彼女は勉強を続けることが出来ませんでした。



ある時その国で内戦が起こり、Y さんは、日本へと逃れてきました。しかしながら、日本は Y さんを 難民とは認めてくれず、アルペで生活することになりました。将来の見通しが見えない苦悩の中で、それ でも何かできないかと喘ぎ、考え抜いた Y さんは、独学でバッグ作りを始めます。色々な素材やパーツを 組み合わせて、オシャレなバッグを作り続けています。さらに自分のスキルを高めたいと、洋裁教室に申 し込みをしました。受講料は、アルペの予算の中でまかなえるか試算しました。その教室の経営者 U さ んは、アルペを訪問したことがあり Y さんに会っていました。U さんから、受講料の代わりに Y さんにボ ランティアで自分のフランス語教室で会話などを教えてほしいという驚きの提案がありました。その理由 は、彼女のフランス語が美しかったからです。 調理担当 津田 和加子

地域とのつながり、ネットワークが広がっています!



神奈川県湯河原町の名店「らぁ麺 飯田商店」がアルペに出張出店

全国のラーメンファンから聖地と呼ばれている神奈川県湯河原町の名店「らぁ麺飯田商店」が、アルペなんみんセンターに入居中の難民、ウクライナ避難民、地域の方々にラーメンを食べて欲しいと、5月24日、今回で3回目となる出張出店してくださいました。150人の方々と美味しいラーメンをいただきました。



鎌倉大仏殿での慈善茶会に参加、 寄付先に選んでいただきました

公益社団法人鎌倉青年会議所主催の第55回慈善茶会が5月13日、鎌倉大仏殿高徳院で開催されました。 昨年に引き続き、境内で活動紹介ブースを出させていただき、寄付先に選んでいただきました。



JCAPMigrants and Refugees Network が視察

アジア地域の移民難民支援団体のネットワークの会議参加者 25人が、アルペなんみんセンターを3月8日、訪問されました。日本の移民・難民が置かれている状況を報告しました。

アルペな **ULU**L

酒井 太郎 医師(さかい内科・胃腸科クリニック 院長)

月曜日の昼下がり、酒井先生が自転車で来られま す。先生いわく「往診ついでに寄っただけ」なのですが、いつも入居

者の健康を気遣い、相談に乗ってくださいます。

被災地での医療支援や無農薬野菜作り、母校の高校生への修学 支援など、幅広く活躍されている酒井先生。実は"ポン菓子屋さん" という別の顔もあることが次第にわかってきました。イベント会場で



ポン菓子をつくり、募金してくれた人にプレゼントするという取り組みを10年以上続けているとのこと。

5月21日に行われた第23回鎌人(かまんど)いち場では、アルペなんみんセンター支援チャリティーポ ン菓子実演会を開催してくださいました。膨らんだお米が「ポン」と大音量ではじけ出るたびに驚きの声が あがり、素朴な味もまた好評でした。子どものころからの夢であるポン菓子屋さんになった酒井先生は、町 の人々を笑顔にしていました。

渡邉 公子さん (一般社団法人 ふらっとカフェ鎌倉 代表)

食材が時に、どこからともなく与えられるというのがアルペなんみんセ ンターの不思議な出来事のひとつです。月に一度、渡邉さんとスタッフ が食パンや菓子パンを届けてくださいます。ふらっとカフェ鎌倉は、食に 困っている方々に食料を無料配布するフードパントリーの活動を行ってい



ます。また、市内のレストランや施設を借りて地域食堂を開催しています。2 年前から入居者も参加するよう になりました。アルペでは今や"フラットカフェ"は近所で行われる交流会の代名詞となっています。

食を通して地域の課題解決に取り組む渡邉さんのもとには全国から食材が届き、多くのボランティアが活 動に加わっています。鎌倉にこのような支援の輪があることに、わたしたちも励まされています。

法人事務担当 山﨑 恵

もっと知りたい

ホームページ

「アルペなんみん」で 検索。お知らせ、活動 報告等を掲載していま



YouTube

活動紹介動画等を配信 しています。



Facebook

お知らせ、活動報告等 を掲載しています。



New Instagram

日本の難民問題につ に学べるよう発信を 始めました!



ご寄付のお願い

アルペなんみんセンターは、皆さまのご寄付によっ て支えられています。ご支援をお願いいたします。

● ホームページからご寄付 (クレジットカード、銀行振込)

アルペなんみんセンターのホームページから、 クレジットカード、銀行振込でのご寄付が可 能です。クレジットカードの場合、継続寄付 もお選びいただけます。













● 郵便振替口座でのご寄付

【口座番号】 00250-6-107205

【加入者名】 NPO 法人アルペなんみんセンター

NPO 法人 アルペなんみんセンター

〒 248-0001 神奈川県鎌倉市十二所 80 Tel 0467-55-5422 info@arrupe-refugee.jp アルペ小金井センター koganei@arrupe-refugee.jp https://arrupe-refugee.jp

発行日 2023年7月1日

